ドローンテロ対策の現状と今後 ～ 大規模警備の視点から（概要）

重要警戒エリアの遥か彼方から、精密に無線誘導されて飛来した大型のドローンが、夜の闇に紛れて、要所・要人目掛けて突入・・・これは正に、警備実施上の悪夢です。しかし、近年の無線技術の進歩発展は、ドローンによるテロ攻撃の脅威を著しく増大し、このような悪夢が現実化しています。

　そこで、昨年の韓国平昌オリンピックや英国ロイヤルウェディングでは、ドローンテロを防ぐため、レーダーで飛来を探知して電波妨害で突入を阻止するなどの態勢をとりました。

　これからの空の産業革命を担うドローンは、手足の代わりに羽根が生えた「空飛ぶロボット」に進化していきます。電波妨害で操縦不能に陥れることも困難になります。ドローンテロ対策は、ますます難しくなっていきます。